



TAKA-Q  
ENJOY FASHION! ENJOY LIFE!

2020年2月期通期決算説明資料

2020年4月14日

このたびの新型コロナウイルス感染症に  
罹患された皆様、および関係者の皆様に  
謹んでお見舞い申し上げます。

# 目次

---

I 会社の概要	5	V 事業構造改革の進捗状況	
II 店舗数の状況	7	・MDプロセス改革・PB戦略の刷新	18-20
III 決算の概要		・Eコマース事業の拡大とDXの推進	21-24
・2020年2月期通期業績のポイント	9	・出退店の方針	25
・損益計算書(要約)	10	VI サステイナブル経営へのチャレンジ	27
・販売費及び一般管理費(要約)	11	VII 創立70周年を迎えるにあたって	29
・営業損益増減分析	12		
・貸借対照表(要約)	13		
・キャッシュ・フロー計算書(要約)	14		
IV 2020年2月期通期業績見通し	16		

## I 会社の概要

II 店舗数の状況

III 決算の概要

IV 今後の見通し

V 事業構造改革の進捗状況

VI サステイナブル経営へのチャレンジ

VII 創立70周年を迎えるにあたって

# I 会社の概要

---

商号	株式会社タカキュー
本社所在地	東京都板橋区板橋三丁目9番7号
事業内容	紳士服・婦人服および関連洋品雑貨の企画・販売
設立	昭和25年（1950年）6月30日
代表者	代表取締役社長 大森 尚昭
資本金	20億円
店舗数	272店舗
社員数	712名

I 会社の概要

**II 店舗数の状況**

III 決算の概要

IV 今後の見通し

V 事業構造改革の進捗状況

VI サステイナブル経営へのチャレンジ

VII 創立70周年を迎えるにあたって

## Ⅱ 店舗数の状況

■ 2020年2月末店舗数 272店舗

TAKA-Q  
MALE & Co.

185店舗

semanticdesign

36店舗

m.f.editorial

31店舗

SHIRTS CODE

3店舗

around the shoes

1店舗

Wilkes Bashford

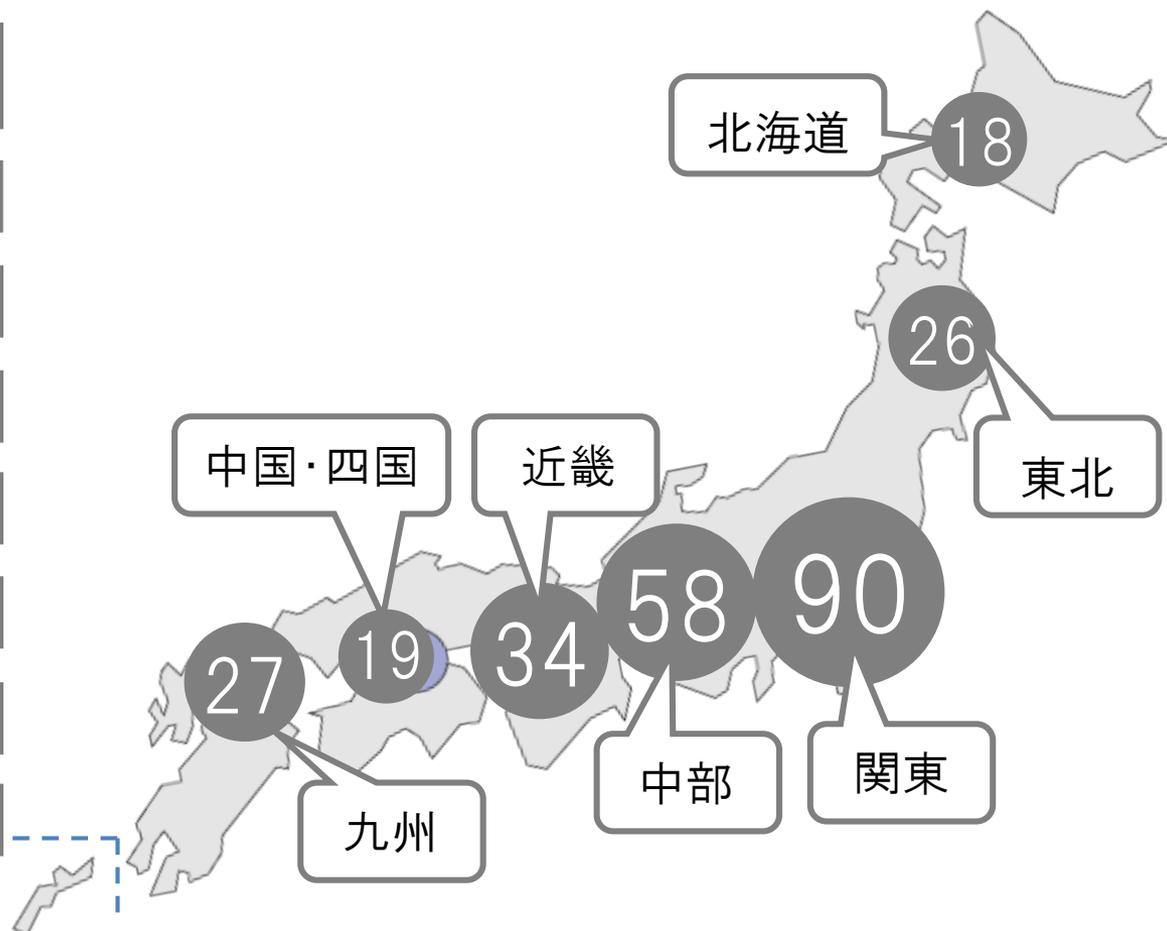
5店舗

GRAND-BACK

10店舗

SUITIST  
ORDER MADE SUIT

1店舗



I 会社の概要

II 店舗数の状況

**III 決算の概要**

IV 今後の見通し

V 事業構造改革の進捗状況

VI サステイナブル経営へのチャレンジ

VII 創立70周年を迎えるにあたって

## 主なポイント

2019年3月22日に発表いたしました、構造改革に基づき、MDプロセス改革、業務効率化、不採算店舗の閉鎖を継続実施。

売上高は減収となったものの、粗利率の改善とコスト削減効果が発現。

✓	<u>売上高は減少</u>	<u>前年増減</u>	<u>△2,616百万円</u>
✓	<u>販管費は減少</u>	<u>前年増減</u>	<u>△1,276百万円</u>
✓	<u>営業損益は赤字幅縮小</u>	<u>前年増減</u>	<u>+1,191百万円</u>

# 損益計算書（要約）

- 商品売上高は構造改革による店舗数減少や市場環境の変化、天候不順等の影響、新型コロナウイルス感染症拡大等により減収（既存店前期比は90.9%）
- 売上総利益は売上高の減少影響を受けるも、値下抑制等により商品粗利率が改善
- 販管費は不採算店舗閉鎖、人件費コントロールで経費削減効果発現（前年比91.7%）
- 減損損失は189百万円（前年差△510百万円）

（単位：百万円）

	2019/2期	2020/2期	前年差額	増減率
売上高	24,997	22,380	△2,616	△10.5%
売上総利益	13,838	13,752	△85	△0.6%
販管費	15,461	14,184	△1,276	△8.3%
営業利益	△1,623	△431	+1,191	—
経常利益	△1,385	△219	+1,166	—
当期純利益	△2,013	△1,051	+961	—

# 販売費及び一般管理費（要約）

- 働き方改革（超過勤務削減や有給取得推奨等）により、人件費は減少
- 構造改革に伴う不採算店舗閉鎖等により、賃借料は減少（30店舗減少）
- その他、売上変動費についても減少傾向

（単位：百万円）

	2019/2期	2020/2期	前年同期比較	
			差額	前年比
販管費	15,461	14,184	△1,276	91.7%
広告宣伝費	966	849	△117	87.8%
人件費	5,759	5,191	△568	90.2%
賃借料	4,273	3,966	△307	92.8%
減価償却費	447	435	△12	97.2%
その他経費	4,015	3,741	△274	93.2%

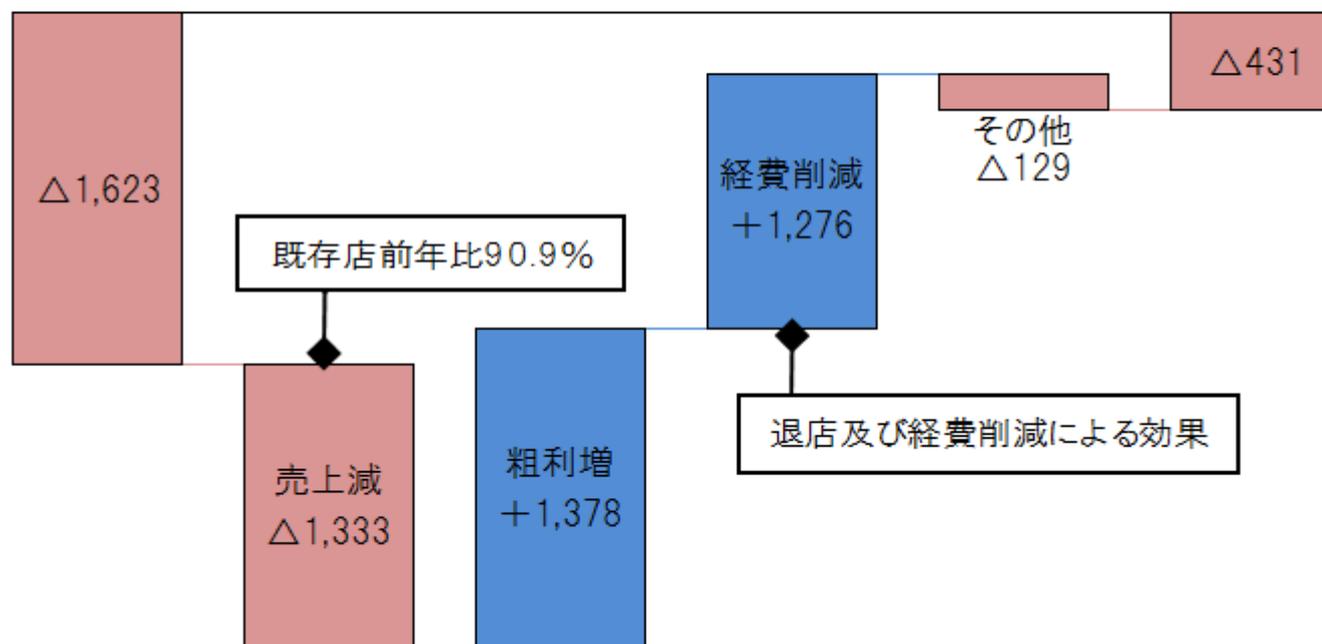
# 営業損益増減益分析

## 【営業損益の推移】 (単位：百万円)

18/2	19/2	20/2
65	△1,623	△431

営業利益  
〔 2019/2期 〕

営業利益  
〔 2020/2期 〕



# 貸借対照表(要約)

- 流動資産の増加: +60  
貯蔵品の増加等
- 固定資産の減少:  $\Delta$ 883  
繰延税金資産の取り崩し、退店による敷金・保証金の減少等
- 負債の増加: +269  
短期借入金及び仕入債務が増加

(単位: 百万円)

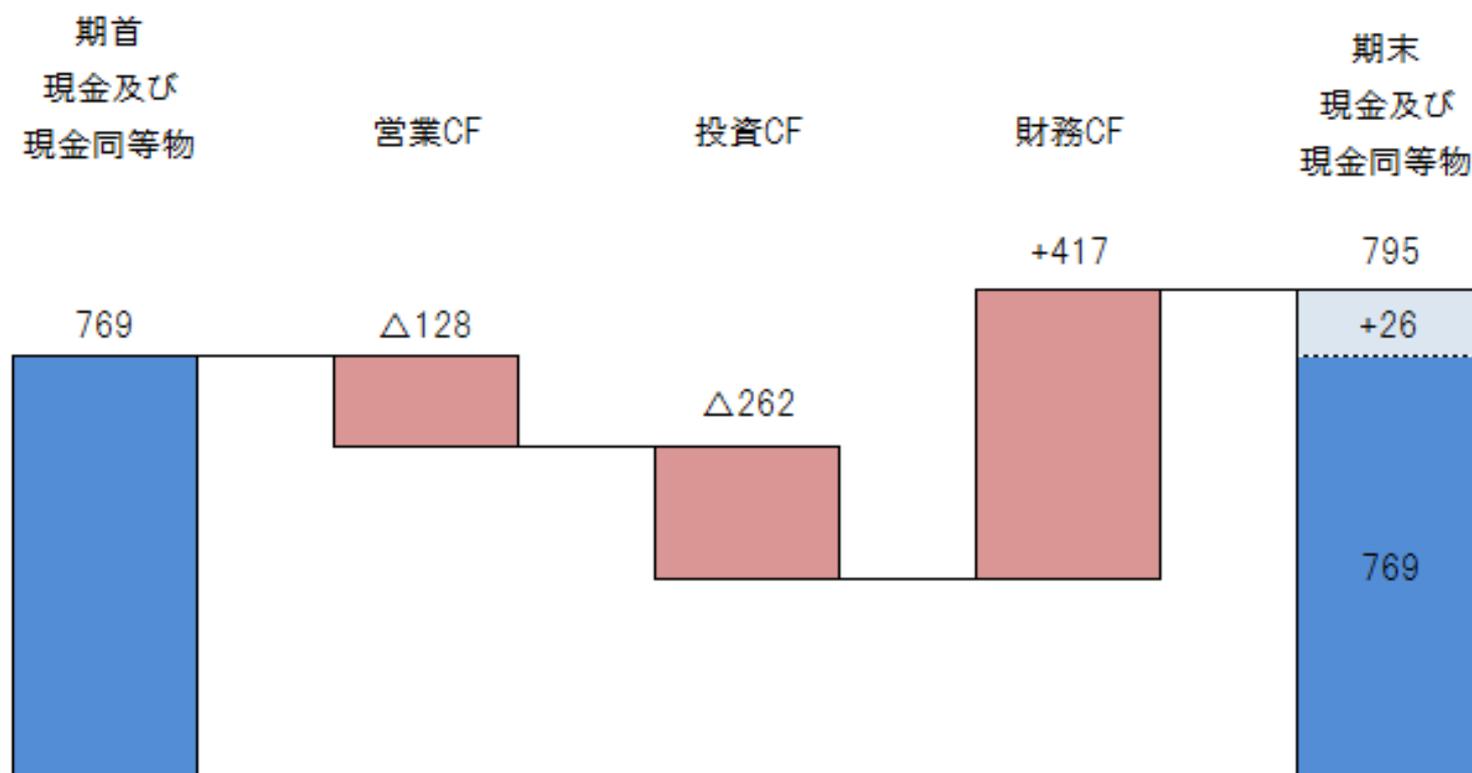
	2019/2期	2020/2期	増減
総資産	11,951	11,128	$\Delta$ 823
流動資産	6,091	6,151	+60
固定資産	5,860	4,977	$\Delta$ 883
負債	6,509	6,778	+269
純資産	5,441	4,349	$\Delta$ 1,092

# キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

- 営業活動によるキャッシュフロー:  $\Delta 128$
- 投資活動によるキャッシュフロー:  $\Delta 262$
- 財務活動によるキャッシュフロー:  $+417$

以上により、当期末の現金及び現金同等物は期首増減で $+26$ となりました。



I 会社の概要

II 店舗数の状況

III 決算の概要

**IV 2020年2月期通期業績見通し**

V 事業構造改革の進捗状況

VI サステイナブル経営へのチャレンジ

VII 創立70周年を迎えるにあたって

## IV 2020年2月期通期業績見通し

---

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う消費マインドの低下や先行き不安、2020年4月7日に発令された政府の緊急事態宣言及びそれに伴う一部地方自治体の要請等に基づいた、一部店舗における営業休止等の実施により、来店客数及び売上に多大なる影響を与える状況が続いております。

このような状況等を踏まえ、現段階では業績に与える影響に未確定要因が多いことから、2021年2月期の業績予想につきましては、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。

今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

I 会社の概要

II 店舗数の状況

III 決算の概要

IV 2020年2月期通期業績見通し

**V 事業構造改革の進捗状況**

VI サステイナブル経営へのチャレンジ

VII 創立70周年を迎えるにあたって

# MDプロセス改革・PB戦略の刷新(THE 3rd WARDROBE)



様々なビジネスシーンでも対応できる機能性と  
カジュアルなスタイリングでもキマるアイテムは“はたらくヒトを応援”します



[https://online.taka-q.jp/shop/pages/2020springcollection\\_takaq\\_mens.aspx](https://online.taka-q.jp/shop/pages/2020springcollection_takaq_mens.aspx)

# MDプロセス改革・PB戦略の刷新

*Wilkes Bashford*

ブランドロゴを刷新。「新シニア市場」を創造し、  
”大人の男性が今着たい服”を提案する。



[https://online.taka-q.jp/shop/pages/20s\\_wilkesbashford.aspx](https://online.taka-q.jp/shop/pages/20s_wilkesbashford.aspx)

# MDプロセス改革・PB戦略の刷新

- 各PBを強化した、これからのタカキューを象徴する店舗の出店

## TAKA Q

川崎ルフロン店(新店)



## TAKA Q

イオンモール幕張新都心店(新店)

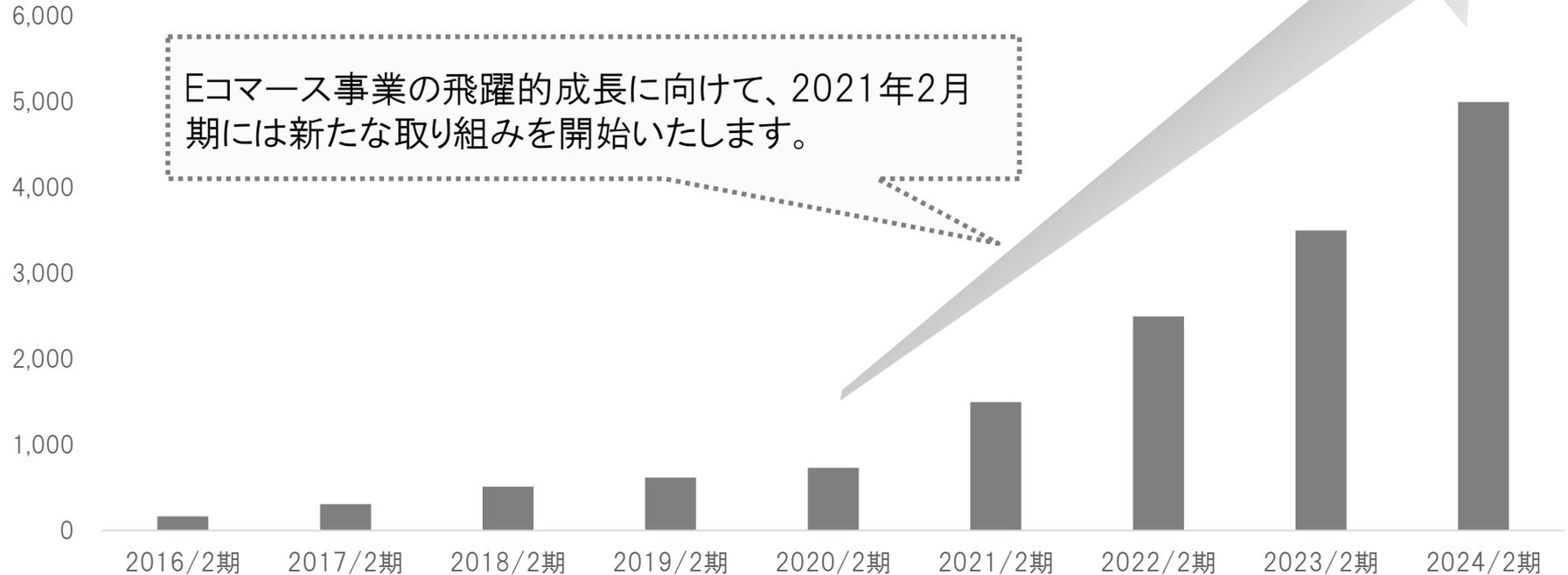


# ECマース事業の拡大とDXの推進

● 2020年2月期のEC売上高は734百万円(EC比率は3.4%)

- ・店舗×ECマースの融合(店舗受取の開始)
- ・オーダースーツのシミュレーター稼働開始

ECマース事業の飛躍的成長に向けて、2021年2月期には新たな取り組みを開始いたします。



(単位:百万円)

# Eコマース事業の拡大とDXの推進



オーダースーツのシミュレートをスマホひとつで。

- <NEW> サイト上で生地・ボタンを選んで出来上がりをイメージ
- <NEW> シミュレート内容で来店予約
- <NEW> 次回以降スマホ一つで注文完了  
(※会員の方のみ)



オムニチャネルの推進に向けて店舗受取サービスをスタート

- <NEW> EC購入商品の店舗受取
- <NEW> 会員クーポンのEC使用を開始
- 店舗試着予約

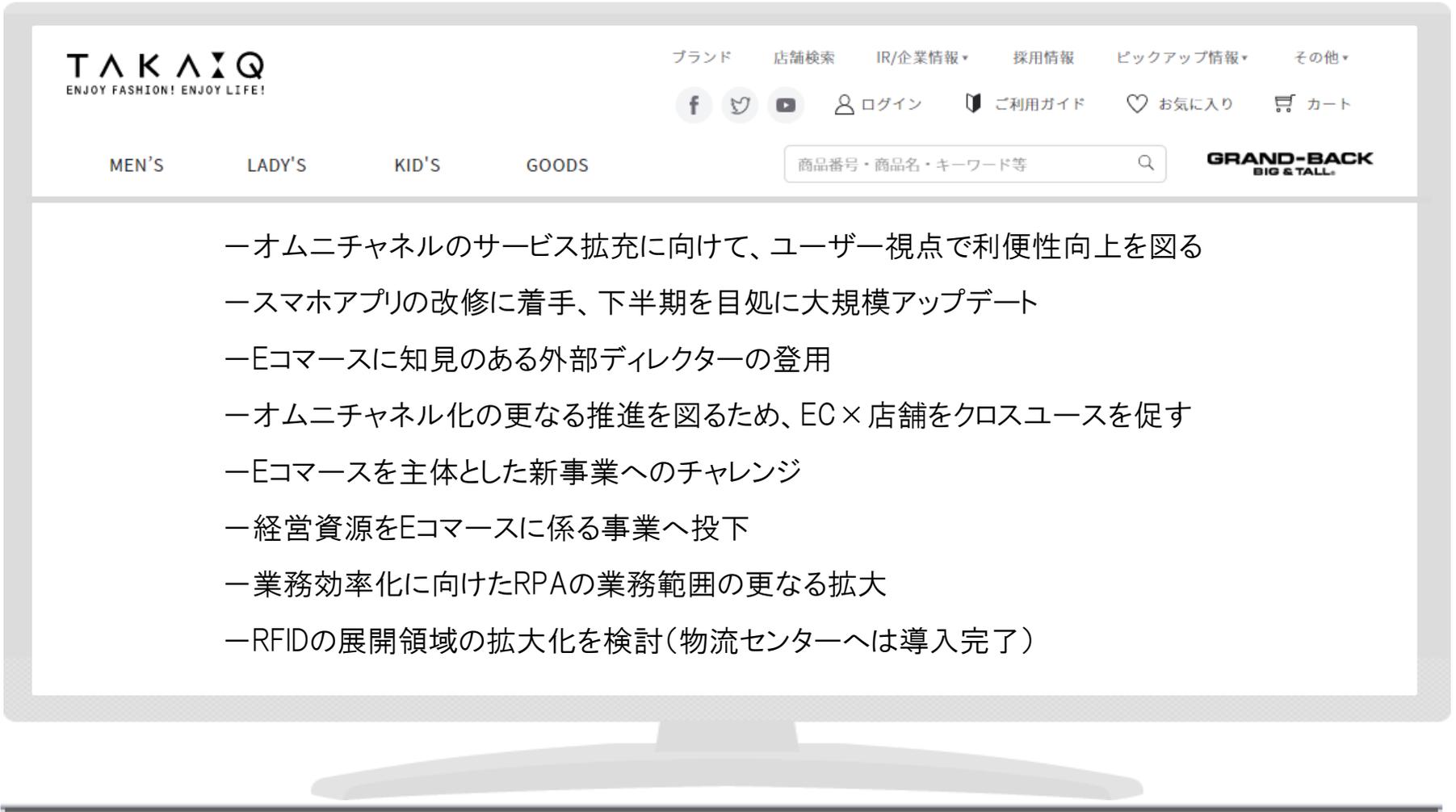
# Eコマース事業の拡大とDXの推進

- 「on the day」ブランドのEコマース専用ブランド化(雑貨・家具等)



# Eコマース事業の拡大とDXの推進

## ●2021年2月期の重点施策



# 出退店の方針

## ●事業構造改革の継続により、不採算店舗の撤退を推進

	2020/2期実績	2020/2期見込	通期 前年増減
出店	2	※ 3	+1
退店	32	33	+1
改装	22(LED12)	21(LED 10)	△1

※ 2021年2月期は、3月に出店したタカキュー川崎ルフロン店に加え、下半期に「タカキュー」「エムエフエディトリアル」それぞれ1店舗の出店を計画しております。



I 会社の概要

II 店舗数の状況

III 決算の概要

IV 2020年2月期通期業績見通し

V 事業構造改革の進捗状況

**VI サステナブル経営へのチャレンジ**

VII 創立70周年を迎えるにあたって

# VI サステイナブル経営へのチャレンジ



世界を変えるための17の目標

- ビニール袋の廃止  
⇒全ショッパーを紙袋へ移行



- エコバックの配布(予定)  
⇒持続して使用できるエコバックを配布  
(一部アフリカ地域での生産を行い  
持続可能な社会作りに貢献)

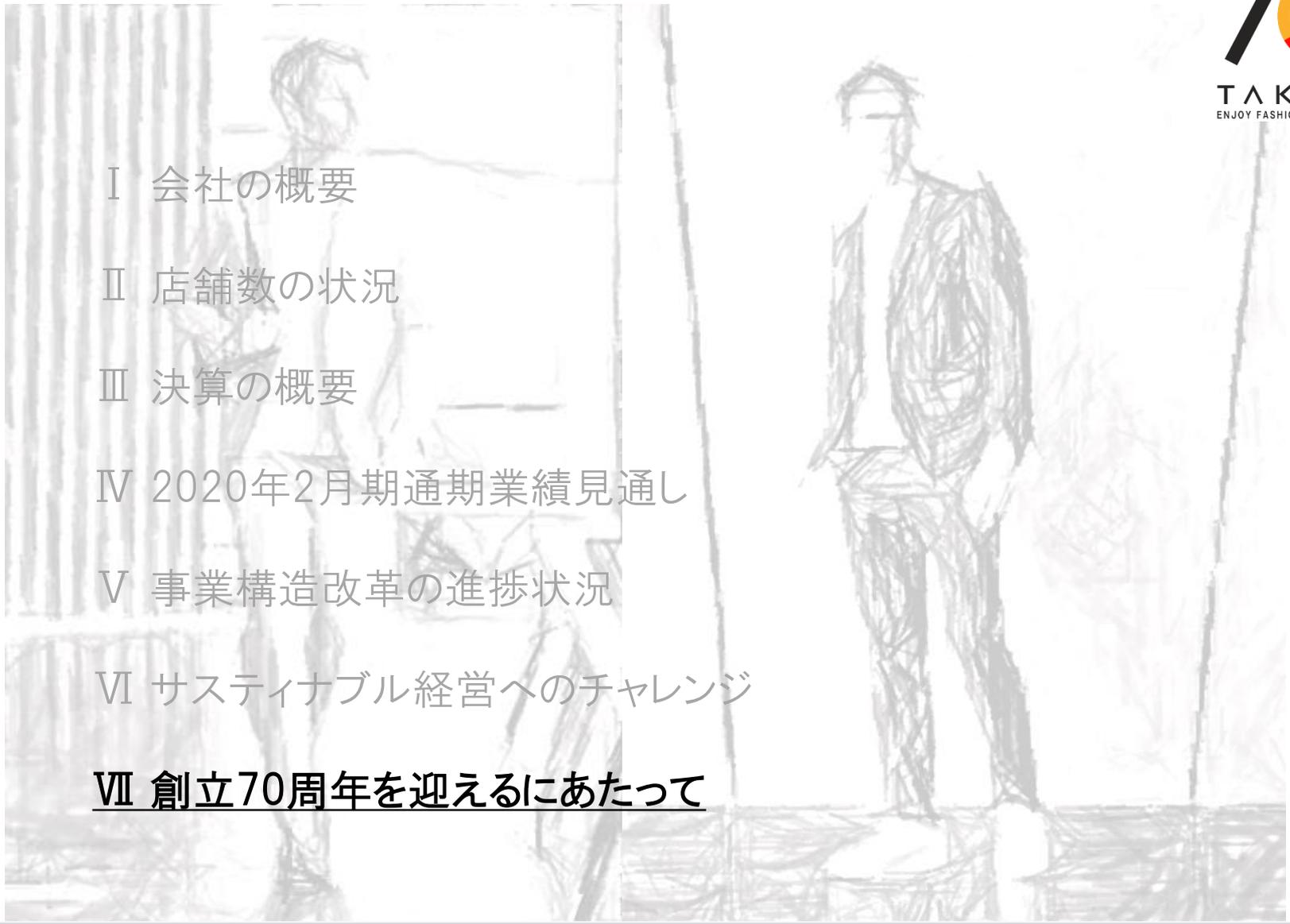


- 衣類回収  
⇒着なくなった衣料を回収し、  
新しい衣料の素材へ



- 照明のLED化  
⇒消費電力の少ない照明を活用し、  
地球温暖化を防ぐ



- 
- I 会社の概要
  - II 店舗数の状況
  - III 決算の概要
  - IV 2020年2月期通期業績見通し
  - V 事業構造改革の進捗状況
  - VI サステイナブル経営へのチャレンジ
  - VII 創立70周年を迎えるにあたって**

## VII 創立70周年を迎えるにあたって

---

おかげ様で、当社は2020年6月30日に創立70周年を迎えることができます。

これもひとえに皆様のご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、創業以来の「お客様最優先」の経営理念のもと、「Enjoy Fashion！ Enjoy Life！」

をテーマに、お客様に喜ばれる接客通じて、お客様に喜ばれる商品を提供することで、

更なる事業活動の活性化を進めてまいります。

当社では、この一年を通して70周年記念商品やキャンペーンを開催いたします。

皆様におかれましても是非、お立ち寄りください。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



---

本資料に掲載されております事項は、決算発表時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

これらの将来展望に関する表明には、様々なリスクや不確実性が内在しており、前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等に係るリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。本資料と併せて、決算短信などの開示書類をご参考にしてくださいませようようお願い申し上げます。